

## 御蔵島の鳥類目録（更新）

小木万布<sup>1)</sup>・根本久史<sup>2)</sup>

1) 一般社団法人御蔵島観光協会 〒100-1301 東京都御蔵島村 E-mail: kogi@mikura-isle.com

2) 御蔵島村農業協同組合 〒100-1301 東京都御蔵島村

### 緒言

小木ら（2012）から小木・根本（2020）にかけて報告した 192 種（日本鳥類目録第 7 版自然分布種 189 種，同外来種 2 種，同未掲載種 1 種）に加え，新たに御蔵島において観察記録のあった鳥類について報告する。

### 材料及び方法

鳥の目撃連絡を受けた際に，可能な限り写真撮影を試みた．写真がない場合でも，種名と発見場所，発見日時が報告されたものは，信頼に足る報告と判断した．撮影した鳥類の種判別には，フィールドガイド日本の野鳥増補改訂版（高野 2007）と海鳥識別ハンドブック（箕輪 2007）を用いた．また分類は日本鳥類目録改訂第 7 版に基づいた．

### 結果

4 目 5 種を新たに記録した．御蔵島で観察記録のある鳥類は 197 種（うち外来種 3 種）となった．今回報告する 5 種のうち，3 種は小木が撮影し，1 種は根本，もう一種は浜脇駿奈氏が撮影した．

カモ目 ANSERIFORMES カモ科 Anatidae

○ハクガン *Anser caerulescens*

2020 年 11 月 17 日正午頃，黒田正道氏より栈橋に白いガンのような大きい鳥がいると連絡が入った．羽色から幼鳥と思われた．本栈橋の付け根付近にて撮影．人を恐れず，子供がそばに寄ってもゆっくり歩くだけだった．その日のうちにいなくなった．

撮影：小木



ミズナギドリ目 PROCELLARIIFORMES ウミツバメ科 Hydrobatidae

○ヒメクロウミツバメ *Oceanodroma monorhis*

2020年7月27日8時頃、ガソリンスタンド付近に落鳥した1羽を保護した。観光協会で計測、撮影後に御蔵島港棧橋より放鳥した。全長170mm、翼開長420mm。箕輪(2007)掲載データより若干小さかったが、初列風切羽基部の白い羽軸より、本種と同定した。「風切などが不揃いのため換羽中で、計測値が小さいのはおそらくそのため」との指摘を高木武氏より受けた。

撮影：浜脇駿奈氏



チドリ目 CHARADRIIFORMES カモメ科 Laridae

○クロハラアジサシ *Chlidonias hybrida*

2020年9月26日13時半頃、東防波堤で2羽を撮影した。翌日、本棧橋にて1羽を確認。嘴の上下に厚みがあること、額から後頭にかけてごま塩状になっていることから、第1回冬羽に換羽中の幼鳥と考えられた(高木武氏私信)。

撮影：根本

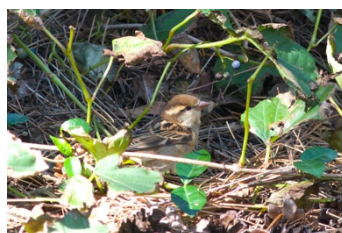


スズメ目 PASSERIFORMES スズメ科 Passeridae

○ニューナイスズメ *Passer rutilans*

2020年10月27日10時頃、ハンタの三宅支庁詰所前の松にてイスカ撮影中に発見。海側のオオバヤシャブシからブロック塀を越えて鳥居前の地面に飛来し、イスカの落とす松の実をついばんでいたところを撮影した。同日、同じ場所で撮影していた西川士朗氏の写真によって本種と同定した。観察できたのはこの日のみであった。

撮影：小木



スズメ目 PASSERIFORMES アトリ科 Fringillidae

○ベニヒワ *Carduelis flammea*

2020年10月22日13時半頃、ハンタの三宅支庁詰所前にて撮影。松の木に群れるイスカ撮影中、東側のブロック塀を越えて地面に降りて来た。イスカは1週間以上その付近で観察できたが、本種の観察はその時のみだった。

撮影：小木



## 考察

小木ら (2012) では 140 種, 小木 (2016, 2017, 2019) では 157 種, 173 種, 179 種, 小木・根本 (2020) で 192 種となった記録種数は, 今回で 197 種となった. ハクガンは 2015 年 11 月に 58 年ぶりに都内で見られ, 荒川の河川敷で 3 羽の幼鳥が観察されたことが様々なニュースになった. 御蔵島で観察のあった 2 日前の 2020 年 11 月 15 日, 八丈島でもハクガン幼鳥 5 羽が初観察されていた (八丈ビジターセンター) が, 御蔵島で見られた個体も含まれるかどうかは不明である.

ヒメクロウミツバメは計測値があったので同定の際の参考になった. 今後, ウミツバメ類に限らず種同定の困難な落鳥があった際は, 全身・翼開長以外の部位に関しても計測を心がけたい. ニュウナイスズメは, 八丈島では冬鳥としての記録が時々あるようだが, 三宅島では 2018 年 3 月に初観察があった (鈴木・内藤 2019). 御蔵島で観察ができたのは 1 日のみ, 三宅島においても 1 週間に 2 回だけの観察であったため, 伊豆諸島北部では, 年によって少数が通過する程度なのかもしれない. 2020 年 10 月から 11 月にかけて, 10/11 マガモ, 10/12 ヒドリガモ, 10/22 オシドリ, 10/22 イスカ, 10/22 ベニマシコ, 10/29 マガンといった御蔵島では観察機会の少ない鳥類の飛来記録があった. これらの時期に新記録種 2 種も混ざって観察された. 春と秋の渡りの時期に観察努力量を増やすだけでなく, 八丈島や三宅島で見られている鳥類情報をこまめに入手し, 御蔵島未記録種が見られている時に生息好適地を中心に努力量を増やすことも記録種数を増やすには有効だろう.

## 謝辞

本報告は, 情報提供がなければなし得ないものでした. 今回, 情報を寄せて下さった小林仁人氏, 黒田正道氏, 西川士朗氏, 撮影を手伝って下さった御蔵島観光協会職員の浜脇駿奈氏にお礼申し上げます. 高木武氏は, 小木の鳥ブログ「とりぶろ」において種同定に関する専門的なご意見をくださいました. 厚く御礼申し上げます. 普段から野鳥について貴重な目撃情報を下さる村民の皆様に感謝致します.

## 引用文献

八丈ビジターセンター. 2011. 最近の話題 2011 年 11 月 1 日【スズメじゃないスズメ】.

[http://www.hachijo-vc.com/topics/archives/2011/11/post\\_880.php](http://www.hachijo-vc.com/topics/archives/2011/11/post_880.php)

八丈ビジターセンター. 2020. 最近の話題 2020 年 11 月 15 日【今度はハクガン】.

[http://www.hachijo-vc.com/topics/archives/2020/11/post\\_1652.php](http://www.hachijo-vc.com/topics/archives/2020/11/post_1652.php)

小木万布・広瀬節良・伊藤俊一. 2012. 御蔵島の鳥類目録. Mikurensis Vol. 1: 57-64

小木万布. 2016. 続 御蔵島の鳥類目録. Mikurensis Vol. 5: 25-31

小木万布. 2017. 続々 御蔵島の鳥類目録. Mikurensis Vol. 6: 25-30

小木万布. 2019. 続々々 御蔵島の鳥類目録. Mikurensis Vol. 8: 11-15

- 小木万布・根本久史. 2020. 続々続々 御蔵島の鳥類目録. *Mikurensis* Vol. 9: 21-25
- 箕輪義隆. 2007. 海鳥識別ハンドブック. 文一総合出版. 東京
- 日本鳥学会. 2012. 日本鳥類目録改訂第7版. 日本鳥学会. 三田.
- 大久保香苗. 2016. 三宅島の鳥類目録の整理 日本鳥類目録改訂第7版以降の知見. *Strix* Vol. 32: 217-237
- 鈴木敏祥・内藤明紀. 2019. 三宅島で新たに記録された野鳥2種について. *Miyakensis* Vol. 22: 19-20
- 高野伸二. 2007. フィールドガイド日本の野鳥増補改訂版. 財団法人日本野鳥の会. 東京.

別表：御蔵島鳥類目録

(2021年2月更新)

<b>キジ目</b>	
1	キジ科 キジ
<b>カモ目</b>	
2	カモ科 ヒシクイ
3	マガン
4	ハクガン
5	コハクチョウ
6	オオハクチョウ
7	オンドリ
8	ヨシガモ
9	ヒドリガモ
10	マガモ
11	カルガモ
12	オナガガモ
13	コガモ
14	キンクロハジロ
15	シロガモ
16	ヒロードキンクロ
17	ミコアイサ
18	ウミアイサ
<b>カイツブリ目</b>	
19	カイツブリ科 カイツブリ
20	カンムリカイツブリ
<b>ネッタイチヨウ目</b>	
21	ネッタイチヨウ科 アカオネッタイチヨウ
22	シラオネッタイチヨウ
<b>ハト目</b>	
23	ハト科 カラスハト
24	キジハト
25	アオハト
<b>ミズナギドリ目</b>	
26	アホウドリ科 コアホウドリ
27	クロアシアホウドリ
28	フルマカモメ
29	シロハラミスナギドリ
30	オオミスナギドリ
31	ハシホソミスナギドリ
32	ウミツバメ科 ヒメクロウミツバメ
33	コシジロウミツバメ
34	オーストンウミツバメ
<b>コウノトリ目</b>	
35	コウノトリ科 コウノトリ
<b>カツオドリ目</b>	
36	ゲンカントリ科 オオゲンカントリ
37	カツオドリ科 アオツラカツオドリ
38	アカシカツオドリ
39	カツオドリ
40	ウミウ
<b>ペリカン目</b>	
41	サギ科 ヨシゴイ
42	オオヨシゴイ
43	ミゾゴイ
44	スゲロミゾゴイ
45	コイサギ
46	アカガシラサギ
47	アマサギ
48	アオサギ
49	ダイサギ
50	チュウサギ
51	コサギ
52	クロサギ
53	トキ科 クロトキ
<b>ツル目</b>	
54	クイナ科 クイナ
55	ヒクイナ
56	ツルクイナ
57	バン
58	オオバン
<b>カッコウ目</b>	
59	カッコウ科 ホトキス
60	ツツドリ
61	カッコウ
<b>ヨタカ目</b>	
62	ヨタカ科 ヨタカ

<b>アマツバメ目</b>	
63	アマツバメ科 アマツバメ
<b>チドリ目</b>	
64	チドリ科 ムナグロ
65	コチドリ
66	メダイチドリ
67	オオメダイチドリ
<b>セイタカシキ科</b>	
68	セイタカシキ
<b>シギ科</b>	
69	ヤマシギ
70	アオシギ
71	オオシギ
72	チュウシヤクシギ
73	アオアシギ
74	クサシギ
75	タカブシギ
76	キアシシギ
77	イソシギ
78	キョウジョシギ
79	トウネン
80	アカエリヒレアシギ
<b>ツバメチドリ科</b>	
81	ツバメチドリ
<b>カモメ科</b>	
82	クロアシサシ
83	ミツユビカモメ
84	ユリカモメ
85	ウミネコ
86	カモメ
87	セグロカモメ
88	コアシサシ
89	ベニアジサシ
90	アジサシ
91	クロハラアジサシ
<b>トウゾクカモメ科</b>	
92	シロハラトウゾクカモメ
<b>ウミスズメ科</b>	
93	ケイマフリ
94	ウミスズメ
95	カンムリウミスズメ
<b>タカ目</b>	
<b>ミサコ科</b>	
96	ミサコ
<b>タカ科</b>	
97	ハチクマ
98	トビ
99	オジロワシ
100	ツミ
101	ハイタカ
102	オオタカ
103	サンバ
104	ノスリ
<b>フクロウ科</b>	
105	オオコノハズク
106	アオハズク
107	コミズク
<b>サイチョウ目</b>	
<b>ヤツガシラ科</b>	
108	ヤツガシラ
<b>ブッポウソウ目</b>	
<b>カワセミ科</b>	
109	アカショウビン
110	ヤマショウビン
111	カワセミ
<b>キツツキ目</b>	
<b>キツツキ科</b>	
112	アリスイ
113	コケラ
<b>ハヤブサ目</b>	
<b>ハヤブサ科</b>	
114	チョウゲンホウ
115	チゴハヤブサ
116	ハヤブサ
<b>スズメ目</b>	
<b>サンショウクイ科</b>	
117	サンショウクイ
<b>カササギヒタキ科</b>	
118	サンコウチョウ
<b>モズ科</b>	
119	モズ
<b>カラス科</b>	
120	ミヤマガラス
121	ハシボソガラス
122	ハシブトガラス
<b>キクイタダキ科</b>	
123	キクイタダキ
<b>シジュウカラ科</b>	
124	ヤマガラス
125	ヒガラス
126	シジュウカラ
<b>ヒバリ科</b>	
127	ヒバリ

128	ツバメ科 ショウトウツバメ
129	ツバメ
130	コシアカツバメ
131	イワツバメ
132	ヒヨドリ科 ヒヨドリ
133	ウグイス科 ウグイス
134	ヤブサメ
<b>ムシクイ科</b>	
135	エゾムシクイ
136	センダイムシクイ
137	イイジマムシクイ
<b>メジロ科</b>	
138	メジロ
<b>センニュウ科</b>	
139	ウチヤマセンニュウ
<b>ヨシキリ科</b>	
140	オオヨシキリ
<b>レンジャク科</b>	
141	キレンジャク
142	ヒレンジャク
<b>ミソサザイ科</b>	
143	ミソサザイ
<b>ムクドリ科</b>	
144	キンムクドリ
145	ムクドリ
146	コムクドリ
147	ホシムクドリ
<b>ヒタキ科</b>	
148	マミジロ
149	トラツグミ
150	シロハラ
151	アカハラ
152	アカコッコ
153	ツグミ
154	コマドリ
155	ノマ
156	コルリ
157	ルリヒタキ
158	ジョウビタキ
159	ヒタキ
160	イソヒヨドリ
161	エゾヒタキ
162	サメヒタキ
163	コサメヒタキ
164	キビタキ
165	オオルリ
<b>スズメ科</b>	
166	ニューナイスズメ
167	スズメ
<b>セキレイ科</b>	
168	イワセキレイ
169	ツメナガセキレイ
170	キセキレイ
171	ハクセキレイ
172	セグロセキレイ
173	マミジロタヒバリ
174	ヒンズイ
175	ムネアカタヒバリ
176	タヒバリ
<b>アトリ科</b>	
177	アトリ
178	カワラヒワ
179	マヒワ
180	ベニヒワ
181	ハキマシロ
182	ベニマシロ
183	イスカ
184	ウソ
185	シメ
186	イカル
<b>ホオジロ科</b>	
187	ホオジロ
188	ホオアカ
189	コホオアカ
190	カシラダカ
191	ミヤマホオジロ
192	バジロ
193	アオジ
194	クロジ

※ 網掛けが初記録種

日本鳥類目録にある外来種	
キジ目	コジュケイ
ハト目	カワラバト
日本鳥類目録にない種	
オウム目	ルリコンゴウ